

ろくのへ 議会だより

第78号

平成25年10月18日発行

●編集/発行●
青森県六戸町議会



建設が進む 町営舘野団地

24年度決算 **一般会計50億円認定**…2P

決算特別
委員会 平成24年度 **決算を慎重に審査**…4P

一般
質問 **2名の議員が町政を問う**…8P

教育長に櫻田泰弘氏再任……………12P

●編集/六戸町議会広報委員会

〒039-2392 青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字前谷地60 TEL:0176-55-3111(代表) FAX:0176-55-3112
ホームページ <http://www.town.rokunohe.aomori.jp> Eメール gikai@town.rokunohe.aomori.jp

別会計を全員一致で認定—

黒字1億7,890万円

9月定例会は、9月5日から12日までの8日間の日程で開催されました。町長から提出された議案は、平成24年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告をはじめ、平成24年度一般会計及び特別会計の決算認定、条例案件、人事案件など合計24件であり、いずれも原案のとおり可決しました。また、議員による追加議案として「道州制導入に反対する意見書」を提出し、全員賛成で可決しました。一般質問は、2名の議員が行いました。(8・9ページに掲載)

監査意見

一般会計・特別会計とも健全な運営

— 債権管理を強化し、適切な徴収を —



代表監査委員
米内山 功

平成24年度一般会計において、歳入は前年度比、個人住民税7・4%増、法人住民税14・4%減となり、歳出では住宅費・住宅施設費の館野団地住宅建設5工区等工事(6346万円)、庁舎発電機新設等工事(3771万円)など大規模な工事を行った。財政運営は、町債を繰上償還(1億5343万円)し、残高2億7368万円減(前年度比4・9%減)であり、将来の財政需要における財政調整基金及び減

債基金においては、平成24年度中2308万円の増となり(新規積立1億86万円、取り崩し7777万円)、前年度同様健全な運営であったと評価できる。

改善を望む点

町税の収入未済額について、財源確保や利用者負担の公平性・公正性の確保といった点からも、より一層債権管理を強化し、適正に徴収を望む。

また、引き続き行財政改革に積極的に取り組むとともに、より効果的で効率的な行政運営に努められたい。

町財政一層の健全化に努力を

(24年度六戸町財政健全化比率の報告)

◎健全化判断基準

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
24年度	黒字のため 数値なし	黒字のため 数値なし	14.6%	48.3%
23年度	—	—	15.7%	66.0%
22年度	—	—	16.0%	81.5%
早期健全化基準	15.0%	20.0%	25.0%	350.0%

◇実質公債費比率

町の標準財政規模(34億6520万円)に占める借金返済額を示す率です。

◇将来負担比率

将来一般会計から負担する負債(借金)の標準財政規模に対する割合を示した率です。

◇実質赤字比率

一般会計の赤字額の標準財政規模に対する比率です。

◇連結実質赤字比率

全会計の実質赤字額の標準財政規模に対する比率です。

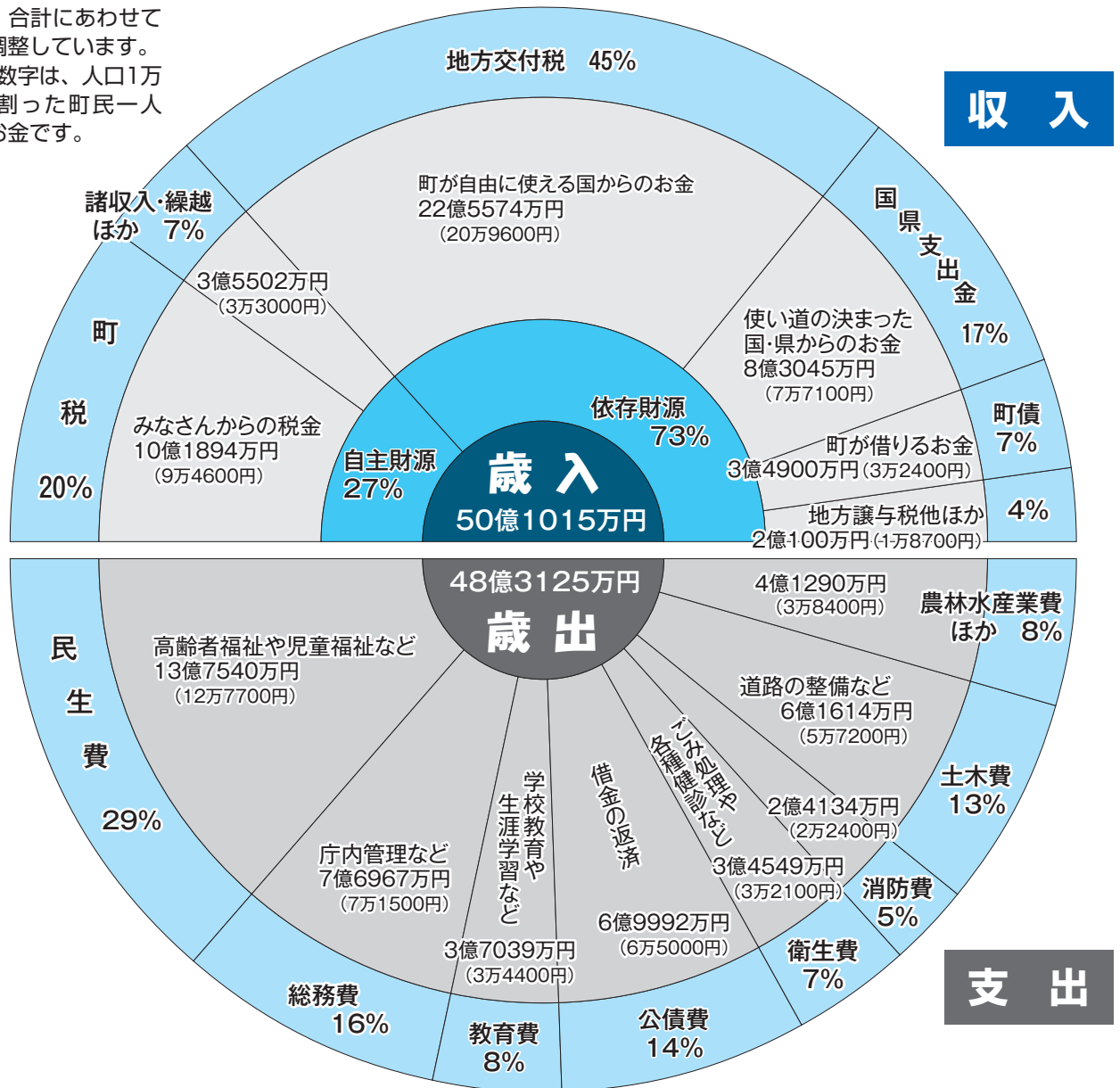


平成24年度
決算

—平成24年度—一般会計・特

一般会計 50億1,015万円

金額は千の位で四捨五入してあり、合計にあわせて一部端数調整しています。
()内の数字は、人口1万765人で割った町民一人あたりのお金です。



貯金は25億円

借金は53億円

24万

町民一人あたり

49万

決算収支は
黒字になりました

残ったお金 1億7890万円

25年度の特定の事業へ 196万円
基金に積み立て 9000万円
25年度に繰り越し 8694万円

会計名	貯金(基金)	借金(借入金)
一般会計	25億8076万円	53億906万円

会計 慎重に審査



平成24年度各会計決算認定に伴う決算特別委員会（川村重光委員長）を設置し、9月10日・11日の2日間の日程で審査が行われました。
 質疑では、各委員からさまざまな意見や要望等が出され、予算がどのように使われたのかを慎重に審査し、すべての会計を認定と決定しました。
 主な内容を要約してご紹介します。

使用料・手数料

久田伸一委員

問 消費税が来年8%になるが、町の使用料・手数料は値上げするのか

町長 来年度消費税が上がったとしても、直ちに手数料を上げるといったことはないと考えています。

納税関係

下田敏美委員

問 督促状がきてから10カ月ぐらいいして、突然担当者 came という話があります。訪問して不在の時はメモを置くなど、滞納者ときめ細やかに連絡を取り、滞納整理をすべきでないか

円子税務課長

答 督促状は納期から10〜20日の間に発送します。それでも納税がない場合は、年2回催告書を出します。また、支払いのな

い方には、電話連絡しています。

子育て支援

高坂茂委員

問 子育て支援交付金・子育て支援特別対策事業費補助金の事業内容は

川村福祉課長 就学前の子供を対象に、さつき保育園と第一日の出保育園において、体験入所、子育てサークル、親子教室等の事業です。

補助金・防犯灯

母良田昭委員

問 ①各町内会事業運営には苦勞している。ふれあい郷づくり事業補助金の趣旨を区長会議等で説明しているか。また、広報で詳しく説明してもらいたい

②防犯灯設置事業設置補助では、何基補助しているのか

下田総務課長

答 ①毎年行われている区長会議で事業の趣旨等を資料を配布して説明しており、理解しているものと考えています。

②防犯灯設置は、6町内会19灯です。

母良田昭委員

問 ②通学路で町内会と町内会の間で暗い所がある。町で電気を負担し通学路を全線明るくしていただきたい

町長

答 ②通学路を改めて調べ、学校側とも相談しながらどのようにすべきがいいか検討します。

河野豊委員

問 定住促進新築住宅建設補助金は2力年ということですが、今年度終了だが、全額補助でなくても継続できないか



委員長 川村重光

平成24年度

一般会計・特別

24年度各会計決算額

会計の種類	歳入	歳出	差引額	
一般会計	51億1015万	48億3125万	1億7890万	
特別会計	国民健康保険事業	13億3099万	13億1249万	1850万
	国民健康保険病院事業	5億6693万	5億8525万	▲1832万
	下水道事業	3億4709万	3億4709万	0
	農業集落排水事業	1億2710万	1億2710万	0
	介護保険事業	12億4500万	12億2719万	1781万
	後期高齢者医療	1億1240万	1億1225万	15万
	霊園事業	965万	965万	0
合計	87億4931万円	85億5227万円	1億9704万円	



町長
 基本的には続けていきたいと思っています。

高坂茂委員
 太陽光発電システム事業の件数、PR方法は

棟方企画財政課長
 24年度は、12件177万2千円です。広報・ホームページ、それと建設業者を介しながらPRしています。

苫米地繁雄委員
 若者定住支援事業651万円、定住促進新築住宅建設補助金2529万円の件数は

棟方企画財政課長
 若者定住支援は41世帯、定住促進新築住宅建設補助は47件です。

苫米地繁雄委員
 人口が増えているが要望等の対策を考えているか

町長
 子ども医療費の無料化など良いと思って頂いた分は継続、問題がでてくれば対応する役所の心構えだけはもっていたいと思っています。

山本実委員
 シヤモロック生産組合に対する補助は、もう十分ではないか

町長
 六戸町の名を掲げながら町内外のイベントに出店され、宣伝効果があり、しばらく補助を続けたいと思います。

情報管理

杉山茂夫委員
 震災やコンピュータウイルス等の六戸町の情報管理体制は

棟方企画財政課長

情報は庁舎2階にある電算室で管理しています。震災等を考え*クラウド化を検討していきたいと考えています。

市町村が共同で行う場合については、交付税を措置する方向という通達は来ています。

なかよし会

苫米地繁雄委員

六戸第一なかよし会の天井が抜け落ちそうな状態。また講堂の柱は、木のささくれが刺さるのでテープが巻かれている

等、早急に改築、新築した方がいいのではないかと

川村福祉課長
 平成26年度に向けて改修工事計画を立てています。

カメムシ防除事業

苫米地繁雄委員

効果と今年の発生状況は

山本産業課長
 今年は大きな発生とは聞いていませんが、いもち病のほうが少し出ているようです。

？ クラウド化とは？
 情報を別の所にも保管して置くこと

国保会計

下田敏美委員

問 24年度一般会計からの繰入金は、1億6千6百万円でした。25年度国保税を値上げしたが、推計で繰入がゼロになる予定か

今出川町民課長

答 25年度は3千万円の繰入金を見込んでいます。

下田敏美委員

問 町民の健康を守るためには、多少の繰入はしやうがないと思うが、考えは

町長

答 国保税を一気に値上げすると、町民に負担をかけるので、現在の数値での値上げにしました。町としては段階的に値上げを考えなければならぬのですが、一部、一般会計のほうから対応したいと考えています。

高坂茂委員

問 共同事業交付金とは何か

今出川町民課長

答 高額な診療報酬が発生すると1町村だけでは

対応できないため、広域で集め国民健康保険団体連合会から交付されるものです。

国保病院会計

杉山茂夫委員

問 ①年間入院患者の半減の理由は

②2年連続で備品の照合作業を指摘されている理由は

③診療費の未収金を積極的な不良債務処理するべしとの指摘はどういうことか

保土沢病院事務長

答 ①近隣市町村の病院改装・改築により入院患者が移ったと思います。
②来年度から会計方式が電算化されることにより、備品の整理を行う予定です。
③未収金は現在44万円あります。2ヶ月に1回の催告書を発送し、電話をしています。収納はなかなか進んでいません。

杉山茂夫委員

問 ①設備や機械等の充実によって入院患者が減ったということは、医療環境面が改善されない限りは、入院患者が戻って

こない。その辺について今後、町立病院としての機能・役割を考えていかなければならないと思う。最初に町民の方がかかる、かかりつけの病院を目指していくことを考えては

保土沢病院事務長

答 ①今年度の入院患者は1日平均13〜15人と入院患者が増えていません。今後、環境面において、病室・外来の改装をし、明るくしてみたら、雰囲気が変わるのではないかと考えています。

町長

答 ①周辺病院には、個室がありゆつくり療養できる状況があります。まずは、町民の皆さんに自分の健康管理、そして町立病院に来て医師から診てもらおうことで、病院がある町民への利点が増すのではないかと思います。

高坂茂委員

問 現在、医師が4名から3名で運営しているがどう考えるか

答 現在、医師が4名から3名で運営しているが、どう考えるか

町長

答 六戸町立病院の場合は、国の基準で4名置くことになっています。入院患者を抱える病院としては最低の人数だと思います。町民の家庭医は町立病院であるという意識をもつて努めていかなければいけないと捉えています。

下水道事業

下田敏美委員

問 マンホール蓋に関するトラブルの苦情が多い。積極的に道路パトロールして住民の苦情がくる前に補修すべきでないか

松村建設下水道課長

答 パトロールして状況を見ていますが、たまたま気が付かないところもありますので、今後十分気を付けて補修するようにします。



補正予算

平成25年度 一般会計9420万円を追加、 総額47億6070万円となりました。

会計名		補正前	補正額	補正後	補正の主な内容
一般会計	歳入	46億6650万円	9420万円	47億6070万円	地方特例交付金 95万円 地方交付金 119万円 県支出金 ▲430万円 繰越金 6771万円 町村魅力発信事業助成金 120万円 町有地管理料 273万円 町債（借金） 2470万円
	歳出	46億6650万円	9420万円	47億6070万円	議員視察研修 194万円 町有地管理委託料等 273万円 住宅用太陽光発電システム補助金 240万円 成人風しん予防接種費用助成金 401万円 連合生活改善グループ連絡協議会 100万円 集落基盤整備事業 3280万円 プレミアム商品券助成事業 350万円 メイプルタウンフェスタ実行委員会 123万円 小松ヶ丘マンホール蓋調整工事ほか 350万円 町道折茂古里線測量調査設計業務ほか 769万円 第15館野団地線道路舗装工事ほか 700万円 館野団地駐車場ほか 302万円
国民健康保険事業特別会計		12億9945万円	175万円	13億120万円	国保システム改修費等 174万円
国民健康保険病院会計（資本的支出）		2879万円	539万円	3419万円	病院内装改修工事 539万円
下水道事業特別会計		2億9518万円	▲191万円	2億9327万円	馬淵川流域下水道維持管理負担金（前年度精査分） ▲127万円
介護保険事業特別会計		12億5469万円	▲146万円	12億5323万円	人件費精査により
後期高齢者医療特別会計		1億196万円	▲100万円	1億96万円	人件費精査により

定例会で決まったこと



建設予定地

条例

◇六戸町子ども・子育て支援会議条例制定

―子ども・子育て支援法の規定に基づき、六戸町子ども・子育て支援会議を設置するためのもの―
（いずれも全会一致で可決）

工事請負契約の締結

◇館野団地住宅建築6工区工事

①六戸町大字犬落瀬字下久保地内

②請負代金 5124万円

③契約の相手方

六戸町大字犬落瀬字柳沢91番地の2
株式会社 漆館組
代表取締役 漆館正博

陳情・意見書

◇「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情

・陳情者 全国森林環境税創設促進議員連盟

産業民生常任委員会付託

◇「道州制導入に反対する意見書」

・依頼者 全国町村議会議長会

総務常任委員会付託

9月11日委員会を開催、採択とし、本定例会へ議員議案を提出しました。
全員一致で可決し、関係機関へ意見書を提出しました。



きゅうでんしんいち
久田伸一 議員

一般質問は、3月・6月・9月・12月に行われる定例会において、議員が町の施策の状況や方針などについて、報告・説明を求めたり質問することをいいます。その内容を要約してお知らせします。

消雪資材購入の補助を

町長 — 農家全体のバランスを考え、慎重に判断する

農業振興事業

問 農業振興事業の現状と将来への展望

は

町長

六戸町は県内でも有数の野菜の特産地として、根菜類を生産しています。野菜の専業農家はもちろん、米との複合経営、また、施設園芸、葉たばこや畜産を組み合わせた経営を確立している農家もあり、周辺市町村と比較しても高いレベルの栽培技術を持った農家が数多くいます。

今後は、良質な野菜生産地としてブランド力を高め、栽培農家・団体の要望に沿った助成、あるいは、支援策については、農家振興上必要と認められるものは対応したい。

問

ここ数年、雪が多くなる春先の農作業が遅れている。消雪のための資材購入補助制度を新設する考えは

町長

雪の少ない・多い年の判断基準、農家の栽培形態や出荷時期で個人差、さらに自助努力で土散布している農家もあり、助成による事業効果も含め、関係機関・関係団体の意見を聞きながら、町内農家全体のバランスを考えて慎重に判断したい。

問

農業用排水路の生産基盤の整備のため、小規模任意組合から側溝等の要望に対し施策を考えては

町長

任意組合への提供を考えた場合、町全体の影響を考慮し、財政面での考察を加えながら、今後検討する。

人・農地プラン

問 農家の高齢化が進み、後継者不足の中、地域農業のリーダーを確保、育成しなければならぬ。青年就農給付金に対する今後の取り組みは

町長

町では昨年度に策定した「人・農地プラン」の中で、新規就農者が中心経営体に位置づけられたほうの予算を計上しています。今後も青年就農給付金の制度に即し、条件に見合う方があれば、補正予算等で対応するほか、制度のさらなる普及に努めていきたい。

国の動向は、現在の給付要件を一部緩和を検討しており、それを注視しています。町としても一歩踏み込んだ形での支援を考えながら努力したいと思います。





かわの ゆたか
河野 豊 議員

一問一答方式

自主防災組織の拡大を

町長 — 活動には、町として支援したい

自然災害対策

問 全国的にゲリラ豪雨や竜巻が頻発し、大きな災害が発生している。町ではどのような災害を想定しているか

町長 平成14年度作成、20年度に修正した「六戸町地域防災計画」で、町における地勢、地質、気象等自然的条件に加え、人口、密集化の状況、産業の集中等の社会的条件並びに過去における災害発生状況を勘案し、発生し得る台風、集中豪雨など異常降雨、地震、豪雪による災害、航空、鉄道、道路、危険物、大規模な林野火災による事故災害、その他異常な自然現象に伴う災害及び特殊な災害を想定しています。

問 災害時の町内危険箇所は把握しているか

町長 急傾斜地や山腹崩壊、土砂・土石流などの危険箇所は把握しています。

それをもとにし、防災マップ、地震防災マップを作成しています。

問 町道にかかる橋の点検状況はどうなっているか

町長 長さ15m以上の橋については、23年度に「六戸町橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、点検しています。



用水路にかかる橋

2m以上15m以下の橋は、簡易点検や維持管理を行っていますが、いずれも来年度以降、国の補助事業を活用し補修工事点検を計画しています。

問 地域防災・防犯を高める観点から、*1自主防災組織を増やすべきと思うが、町長の考えは

町長 町には小松ヶ丘地区に組織されています。他の地域は、町内全域を9つの消防分団で区割りし、分団が随時活動しています。町内会において自主防災組織の機運が高まれば、町として支援していきたいと思えます。

まずは、町内会がコミュニティとして地域の状況把握し、支え合うことが前段となると思います。



*1 自主防災組織は、町内会が母体となって自主的に連携して防災活動を行う団体です。

問 災害発生に対する訓練はやっているか、又、マニュアルは作成しているか

町長 町単独の訓練は実施していませんが、県で実施する青森県総合防災訓練、青森県水防演習等には、消防団員をはじめ担当職員が参加し訓練を受けています。

マニュアルについては、各公共施設は作成していますが、避難経路、方法指定はしていません。

東日本大震災の例をみてもマニュアル化することが安全か疑問の残る部分も多少あります。災害に備えるためには、危機管理意識をもって、行政と住民が継続的に行動を実践し、息の長い活動を途切れることなく続けることが重要だと考えています。

イベント安全対策

問 イベントに出店する露店の届け出、指導は徹底されているか

町長 町観光協会で準備したイベント広場の露店の届け出に関しては、観光協会から露店に対し、事前に届け出するように指導しており、出店許可を出すようにしています。

問 町のイベントが、実行委員会を組織して行われているが、事故が起きた時の責任の所在は

町長 町の年間行事としては、町が対応する役員になるのではと思っています。

議会だよりの読みやすさをめざし



私たち広報委員会は、よりよい議会広報紙を目指し、常に緊張感をもって、読者に読んでもらえる紙面作りを心がけています。

そこで、今回の全国研修会（東京9月30日・10月1日）に参加し、大いに研鑽を積んでよりよい紙面作りに役立てたいと考え、委員長からの発案で委員会全員の参加となりました。

本研修会は、2日間の日程で行われ、1日目は3人の講師による全体研修で、内容の1点目は、文章は人の心を動かすこと、2点目はマスを目を使ったデザイン構成を、3点目はデジタル時代の写真の撮り方の講義を受けました。

2日目は3分科会に分かれての研修で、各自自治体から議会広報紙の紙面評価を中心に講師からのアドバイスを受ける内容でした。

次にこの研修に参加した感想を記します。

私たちは、毎年県内の広報に関する研修会に参加し、各自自治体の紙面評価を講師の先生から受ける内容と、紙面作りのノウハウを学んではいました。

そして、今回の全国規模の研修会に参加して、なるほど、このように具体的な事例でもって示されたという研修内容は、イメージも湧き今後の自信につながるものでした。



講師 長澤 忠徳氏
(武蔵野美術大学教授)

1日目の3人の講師は持ち時間が70分にもかかわらず時間をオーバーするほどの熱の入れようでした。

このことからわかるように、研修内容の充実さと、中身の濃さが相まって、より良いものを作るといふ、動機づけになったと思います。



おわりに、議会だよりが、単なる議会報告紙ではなく、情報紙にも変わるような内容の紙面作りと、読者が手にとって分かりやすい広報紙を目指していくことを確認して報告とします。

広報委員会委員
高坂 茂 記

議会広報委員会
委員長 河野 豊
副委員長 杉山 茂夫
委員 附田 輝雄
下田 敏美
川村 重光
島山 正子
議会事務局



町村議会 広報研修会開催

9月25日青森市において、広報研修会が開催されました。

今回の研修は、「議会広報に求められるものは？」と題し、広報コンサルタント 深沢 徹氏による研修が行われました。議会広報はどうあるべきか？

ありのままに

(議事公開)

わかりやすく

(住民の目線で)

住民とともに

(住民のもの)

これらを常に考えながら作成し、皆さんに手に取って読んでいただけるような議会広報づくりに努力します。



広報コンサルタント 深沢 徹氏

議会のイベント

(25年6月～8月)

6月

- 1日 六戸小学校運動会
- 2日 第36回上北郡総合体育大会
- 3日 青森県町村議会議長会臨時総会
- 4日 議会運営委員会
- 7日 第4回六戸町長杯グラウンド・ゴルフ交歓大会
- 10日 第2回六戸町議会定例会

(～12日)

- 10日 全員協議会
- 12日 町議会産業民生常任委員会
- 12日 町議会総務常任委員会
- 12日 町議会広報委員会
- 21日 十和田地域消防安全管理協会懇親会
- 22日 十和田警察官友の会集いの会
- 23日 三沢地区消防団連合観閲式
- 27日 第12回おいらせ農業協同組合通常総代会
- 28日 北奥羽開発促進協議会定例会

7月

- 3日 上北郡町村議会議長会臨時会
- 8日 小学校合同芸術鑑賞会
- 9日 八戸地域県境不法投棄問題対策協議会総会

8月

- 10日 八戸・十和田・奥入瀬ライン整備促進期成同盟会定例会
- 10日 三沢十和田線整備促進期成同盟会定例会
- 11日 町議会広報委員会
- 11日 県下町村議会議員研修会
- 11日 野辺地町議会との意見交換会
- 12日 八戸西インターチェンジ建設促進期成同盟会要望活動
- 12日 町議会広報委員会
- 12日 のへじ常夜燈フェスタ
- 20日 東京六戸会総会
- 21日 十和田地区暴力追放推進協議会理事会・総会
- 30日

- 2日 青い森信用金庫六戸信友会納涼ビール祭り
- 4日 六戸町民運動会
- 10日 第18回六戸町社会福祉大会
- 15日 25年度六戸町成人式
- 20日 六戸町地域包括支援センター建設工事安全祈願祭
- 20日 第2回上北郡町村議会議長会定例会
- 27日 青森県民駅伝競走大会六戸町選手・役員結団式
- 28日 三沢十和田線整備促進に関する要望活動

お知らせ

町の未来が見えてくる！ 議会を傍聴してみませんか。

今、町ではどのようなことが議論されているのだろうか。また、どのような計画があって、どう進んでいるのだろうか。あなたにとって身近なこともかもしれません。議会は、年4回の定例会（3・6・9・12月）、臨時会（随時）を開催します。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。



◆お気軽にお電話ください
六戸町議会事務局 ☎0176-55-4547 (直通)

次回定例会は12月上旬予定。



「私の議会傍聴体験記」

小野寺 邦男 (折茂)

突然の電話でした。「先日の議会を傍聴した感想を書いて欲しい」「ええっ、私が」という訳で引き受けましたが、なかなか文字にするとすると、難しく筆が進みません。

9月議会の傍聴は私にとって2回目で、今回は農業問題の一般質問があるとの情報を得ての傍聴でした。

農業問題では生産者が日頃の疑問、こうあって欲しい、と思っていることを質問しており実現すれば有り難いと思っている。

防災・減災の質問があり、そのときにはこういう事も必要だなと思っていました。しかし、その後台風18号が列島を縦断し当町でも河川は堤防などが整備されているものの、農業用・排水路など危険箇所の把握なども必要と痛切に感じました。非常にタイムリーな質問であったと思います。

質問者と町長の一問一答方式でしたが、いずれの質問にもややすれ違いの返答感があり、もっと質問者も突っ込んだ質問があってもいいかなと思いました。

最後に、この日の傍聴は7～8人で、もう少し増えて20人前後あってもいいのではと思いました。

議会広報委員会では、町民の皆様のまちづくりに対するご意見、ご要望の投稿を募集しています。どしどしお寄せください。お待ちしております。

櫻田泰弘氏 教育長に再任

■教育委員会委員 櫻田泰弘氏の任期満了に伴い、同氏を任命することに同意しました。

また、教育委員会臨時会において、教育長に再任されました。任期は4年です。

さくらだ やすひろ 氏

(昭和22年生)

十和田市西二十二番町
18番21号



ごあいさつ

このたび、議会の同意をいただき教育委員に、その後、教育委員会臨時会において教育長に任命され、再任となりました。

身の引き締まる思いではありますが、町民の皆様と力を合わせ、教育環境の充実と、教育へのご期待に答えていきたいと思っております。

教育委員会は、約35,000冊の書籍が備えてある図書館運営から、学校教育・社会体育・社会教育の関連分野を担当しています。

今後も町民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、教育施策を推進していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

佐藤隆氏 固定資産評価委員に再任

■固定資産評価審査委員会委員 佐藤隆氏の任期満了に伴い、同氏を再任することに同意しました。

任期は3年です。



さとう たかし 氏

(昭和38年生)

六戸町大字犬落瀬字
堀切沢60番地116

編集後記

2013年産の水稲は、消雪遅れで田植え作業がずれ込んだものの、その後の高温で生育が回復し最終的には作況指数105の「やや良」となる見込みで稲作農家も「出来秋」に感謝し収穫作業を終えた事と思ひます。

朝晩めっきり肌寒くなった十月(神無月)。秋といえば「食欲の秋」と言われます。秋の味覚狩りは数あれど本県では、「りんご狩り」「ぶどう狩り」「梨狩り」等、美味しものが豊富である。家族一緒に秋の味覚を楽しみたいものである。

「食欲の秋」暴飲暴食に注意して健康に過ごしましょう。

議会広報委員 附田輝雄

発行責任者

議長 苦米地繁雄

